

日本天文学会昭和52年度春季年会記事

昭和52年度春季年会は、5月17日(火)~20日(金)の4日間、国立科学博物館講堂および階段講義室で行なわれた。講演数151、出席者386名、座長は次の方々をお願いした。

- 17日 午前 青木 信仰, 海野和三郎(講堂, 講演数13)
午後 長沢進午, 大脇直明(講堂, " 18)
18日 午前 北村正利, 坂下志郎(講堂, " 15)
午後 宮本正太郎, 河鱈公昭(講堂, " 20)
19日 午前 坪川家恒, 安田春雄(階段講義室, " 10)
田中春夫, 高倉達雄(講堂, " 10)
午後 古在由秀 (階段講義室, " 10)
青木 信仰 (講堂, " 9)
20日 午前 弓 滋, 高窪啓弥(階段講義室, " 8)
小暮智一, 赤羽賢司(講堂, " 9)
午後 会津 晃, 藤本光昭(階段講義室, " 15)
小尾信弥, 西 恵三(講堂, " 14)

なお会期中、通常総会、評議員会、新旧合同理事会および懇親会、その他多くのサブ・グループの会合もたれた。

総 会 議 事

5月19日午後3時50分~5時5分、国立科学博物館講堂、出席者約150名、

議長: 理事長 弓 滋

- 次第: 1. 天体発見賞贈呈の件
2. 昭和51年度会務報告
3. 昭和51年度会計報告
4. 昭和52年度予算
5. 理事長、副理事長の選出
6. 理事指名
10. 欧文研究報告編集委員依嘱
11. 大塚奨学金選考委員依嘱
12. 評議員選挙管理委員依嘱
13. 会計監査依嘱
14. 新理事長挨拶

◇天体発見賞贈呈の件

評議員会の議決に基づき、1976年9月23日世界時13時17分へびつかい座に8.8等の新星(へびつかい座新星1976)、1977年3月27日世界時19時20分射手座に9.3等の新星(射手座新星1977)の2つを発見した桑野善之氏に対し天体発見賞を贈呈する件が提案され、満場一致で可決し、理事長より表彰状およびメダルの贈呈が行なわれた。

◇昭和51年度会務報告

庶務理事より昭和51年度会務報告(付録1参照)があり、承認された。

◇昭和51年度会計報告

昭和51年度会計報告(付録2参照)が会計理事より行なわれ、これに関して会計監査より監査の結果正常であった旨の報告がなされ、承認された。

◇昭和52年度予算

会計理事より昭和52年度予算案(付録3参照)の説明があり、質疑応答の後承認された。

◇役員を選出、指名および依嘱

評議員会からの推薦に基づき、理事長に末元善三郎氏、副理事長に安田春雄、柿沼隆清の両氏を選出した後、末元理事長から理事、欧文報告編集委員および大塚奨学金選考委員の指名および依嘱が行なわれ、承認された。又、評議員会の指名に基づき、評議員選挙管理委員および会計監査の選出が行なわれた。選出された役員は以下の通りである。

A. 理事(定員: 法定理事15名、支部理事20名)

理事長: ○末元善三郎

副理事長: ○柿沼隆清, ○安田春雄

庶務理事: ○宮本昌典, ○中桐正夫

会計理事: ○杉本大一郎, ○中桐正夫(併)

欧文研究報告編集理事: ○古在由秀(編集長), ○小平桂一, 堀源一郎, 寿岳潤, 内田豊

天文月報編集理事: ○青木信仰(編集長), ○成相恭二, 斎藤馨児, 香西洋樹, 大木健一郎

支部関係理事

北海道: 兼古昇

水 沢: ○原忠徳, 笹尾哲夫

仙 台: ○竹内 峯, 田村真一

東 京: ○海野和三郎, 田中靖夫, 平山 淳, 北郷俊郎, 村山定男, 山崎 昭

名古屋: 山下広順, 鷺見治一

京 都: ○小暮智一, 岩崎恭輔, 佐藤修二, 北村静一

中国四国: 富田憲二

九 州: ○上西啓祐

(○印: 法定理事)

B. 欧文研究報告編集委員(定員10名)

※青木信仰, ※海野和三郎, ※小田 稔, 川口市郎, 末元善三郎, 高窪啓弥, 田中春夫, 早川幸男, 林忠一郎, ※弓 滋 (※印: 新任)

- C. 大塚奨学金選考委員 (定員 6 名)
奥田治之, 上西啓祐, 神野光男, 古在由秀, 成相秀一, 村山定男
- D. 評議員選挙管理委員 (定員 5 名)
会津 晃 (委員長), 上条文夫, 近藤正明, 斉藤馨児, 水野孝雄
- E. 会計監査 (定員 2 名)
大沢清輝, 高柳和夫
- ◇新理事長末元善三郎氏より就任の挨拶があった。
◇旧理事長弓 滋氏より退任の挨拶があった。

〔附録 1〕

昭和 51 年度 会務報告

社団法人 日本天文学会

昭和 51 年度は、本会創立 69 年度、社団法人設立後 43 年にあたる。

本年度に行った事業

(イ) 出版

- 1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)

第28巻 第2号 224 頁 昭和51年7月25日発行

第28巻 第3号 124 頁 昭和51年10月25日発行

第28巻 第4号 226 頁 昭和51年12月25日発行

第29巻 第1号 166 頁 昭和52年3月25日発行

2) 天文月報

第69巻第4号から第70巻第3号まで毎月発行

(ロ) 年会

2) 春季年会

昭和 51 年 5 月 18 日～5 月 21 日 東京大学理学部 2 号館講堂で開催、講演数 139、出席者 約 380 名

2) 秋季年会

昭和 51 年 10 月 7 日～10 月 9 日 広島大学政経学部大講義室で開催、講演数 122、出席者 約 240 名

総会および評議員会

(イ) 通常総会

昭和 51 年 5 月 20 日 15 時 30 分～16 時 50 分 東京大学理学部 2 号館講堂で開催

議長: 弓 滋

- 議題: 1. 天体発見賞贈呈の件
2. 日本天文学会神田茂記念賞贈呈の件
3. 昭和 50 年度会務報告
4. 昭和 50 年度会計報告
5. 昭和 51 年度予算案
6. B 組評議員改選の件
7. 大塚奨学金内規改訂の件

(ロ) 評議員会

1) 昭和 51 年 4 月 10 日 13 時 45 分～16 時 10 分 東京大学理学部天文学教室会議室で開催

議長: 大 沢 清 輝

- 議題: 1. 天体発見賞贈呈の件
2. 日本天文学会神田茂記念賞贈呈の件
3. 昭和 50 年度会務報告
5. 昭和 50 年度会計報告
5. 昭和 51 年度予算案
6. B 組評議員改選の件
7. 大塚奨学金の運用について

2) 昭和 51 年 5 月 19 日 12 時 25 分～12 時 35 分 東京都文京区学士会館本郷分館で開催

議長: 奥 田 豊 三

議題: 総会提出議案の確認

大塚奨学金選考委員会

昭和 51 年 10 月 7 日 12 時 15 分～13 時 15 分

広島大学大学会館で開催

議長: 弓 滋

議題: 昭和 51 年度奨学金受給者の決定

その他の主な事項

(イ) 天体発見賞贈呈 (5 月)

小林 徹 (彗星 Kobayashi-Berger-Milon (1975h), 1975 年 7 月 2 日発見), 桑野善之 (1975 年射手座新星, 1975 年 7 月 13 日発見), 長田健太郎 (1975 年白鳥座新星, 1975 年 8 月 29 日発見), 森 敬明 (彗星 Mori-Fujikawa (1975j), 1975 年 10 月 5 日発見), 鈴木繁道 (彗星 Suzuki-Saigusa-Mori (1975k), 1975 年 10 月 5 日発見), 佐藤安男 (彗星 Sato (1975q), 1975 年 12 月 5 日発見) の各氏に天体発見賞, 本田 実, 伊藤 茂, 日本大学天文研究会, 橋本就安 (1975 年白鳥座新星の独立発見), 佐藤安男, 藤川繁久 (彗星 Mori-Sato-Fujikawa の独立発見), 三枝義一, 森 敬明, 岡崎清美, 古山 茂 (彗星 Suzuki-Saigusa-Mori の独立発見) の各氏に発見功労賞を贈呈した。

(ロ) 日本天文学会神田茂記念賞贈呈 (5 月)

五味一明 (変光星の観測), 佐伯恒夫 (普及活動, 火星の観測), 清水真一 (天体写真), 関 勉 (彗星の発見), 中野 繁 (星図作製, 普及活動), 野尻抱影 (多数の著作による普及活動), 長谷川一郎 (天文情報の交換, 軌道計算), 本田 実 (彗星発見, 日本の彗星発見の今日の隆盛への発端), 藪 保男 (流星の写真観測および流星の研究) の各氏に長年にわたる地道な普及活動および研究活動に対して日本天文学会神田茂記念賞を贈呈した。

(ハ) 昭和 51 年度本会奨励研究生は井口恵博, 植月

修志、寒蟬俊朗、福長正考の4氏に決定した(7月)

- (ニ) 日本学術会議宛、昭和52年度の科学研究費補助金の配分審査委員の第1段候補者として弓 滋、北村正利の両氏を推薦した(9月)
- (ホ) 東京天文台の一般公開を後援した(10月)
- (ヘ) 東レ科学振興会研究助成候補を1件推薦申請した(11月)
- (ト) 文部省より昭和51年度研究成果刊行補助金として欧文研究報告に対して1,430,000円が交付された(12月)
- (チ) 昭和51年度大塚奨学金を中野主一、杉本 智の両氏に支給した(3月)
- (リ) 学術交流関係事業として、年会研究発表者47人に対して旅費の補助を行った(5月、10月)

会 員 数

	昭和51年度末現在	昭和50年度末現在
名誉会員	3	4
特別会員	461	460
通常会員	1,516	1,548
賛助会員	32	33

[附録2]

昭和51年度 収支決算書(単位円)

(昭和50年4月1日~昭和52年3月31日)

経常部 社団法人 日本天文学会

収 入		支 出	
前期繰越金	5,453,742	欧文報告調製費	6,618,803
会費	10,138,510	天文月報調製費	5,196,462
欧文報告販売	3,183,709	諸印刷物調製費	2,412,777
天文月報販売	1,108,710	送料通信費	1,678,719
諸印刷物販売	3,069,281	交 通 費	523,310
印 税	2,557,000	定 会 費	159,015
利 息	564,261	謝 金	898,934
雑 収 入	3,415,000	人 件 費	2,093,080
文部省刊行補助金	1,430,000	物 品 費	530,080
		雑 費	747,705
		次期繰越金	10,061,328
計	30,920,213	計	30,920,213

臨 時 部

収 入		支 出	
前期繰越金	1,232,993	学術交流費	681,440
賛助会費	990,000	研究補助費	336,000
利 息	26,004	次期繰越金	1,231,557
計	2,248,997	計	2,248,997

大塚奨学金

収 入		支 出	
前期繰越金	5,685	奨 学 金	100,000
利 息	112,194	事 務 費	10,000
		次期繰越金	7,879
計	117,879	計	117,879

財 産 目 録 (昭和52年3月31日現在)

経常部, 臨時部

資 産 の 部

興業債券	日本興業銀行	200,000
金銭信託	住友信託銀行吉祥寺支店	7,538,957
普通預金	住友信託銀行吉祥寺支店	17,107
	三菱銀行三鷹支店	2,190,745
	富士銀行三鷹支店	608,559
	第一勧業銀行三鷹支店	927,685
当座預金	三菱銀行三鷹支店	22,874
振替貯金	東京地方貯金局	406,155
現 金		163,503
計		12,075,585

負 債 の 部

前受会費	△782,700
計	△782,700
経常部臨時部純財産	11,292,885

大 塚 奨 学 金

貸付信託	住友信託銀行吉祥寺支店	1,330,000
普通預金	住友信託銀行吉祥寺支店	7,879
計		1,337,879

基 金 積 立 金

貸付信託	住友信託銀行吉祥寺支店	1,440,000
金銭信託	住友信託銀行吉祥寺支店	205,252
金銭信託	住友信託銀行吉祥寺支店	133,117
計		1,778,369

以上正味財産

14,409,133

監査の結果、収支決算の正しいことを証明します。

昭和52年4月8日

坪 川 家 恒[Ⓔ]
進 士 晃[Ⓔ]

[附録3]

昭和52年度 予算書(単位円)

(昭和52年4月1日~昭和53年3月31日)

経常部 社団法人 日本天文学会

収 入		支 出	
前期繰越金	10,061,328	欧文報告調製費	7,800,000
会費	9,500,000		

欧文報告販売	4,500,000	天文月報調製費	5,500,000
天文月報販売	1,050,000	諸印刷物調製費	2,000,000
諸印刷物販売	1,500,000	送料通信費	2,000,000
印 税	1,000,000	交 通 費	1,000,000
利 息	500,000	定 会 費	300,000
雑 収 入	2,800,000	謝 金	1,500,000
文部省刊行補助金	1,500,000	人 件 費	3,100,000
		物 品 費	200,000
		雑 費	900,000
		予 備 費	8,111,328
計	32,411,328	計	32,411,328

臨時部

収 入		支 出	
前期繰越金	1,231,557	学術交流費	860,000
賛助会費	920,000	研究補助費	84,000
		欧文報告総索引調製費	1,000,000
		予 備 費	207,557
計	2,151,557	計	2,151,557

大塚奨学金

収 入		支 出	
前期繰越金	7,879	奨 学 金	100,000
利 息	104,006	事 務 費	10,000
		予 備 費	1,885
計	111,885	計	111,885

学会だより

秋季年会の開催と講演の申込みについて

今秋の年会は名古屋市千種区不老町名古屋大学経済学部第1講義室で10月19日(水)~21日(金)の3日間開催の予定です。今回の講演発表は、従来通りのシングルセッションで行なわれます。

講演申込みは『〒181 三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内、日本天文学会年会係』あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱筆の上 8月15日(月)までに必着するよう規定の申込用紙を用いてお送り下さい。

申込み用紙は、支部理事にまとめて送ってありますので希望者は返信料 50 円を同封の上、下記の理事へお申し出下さい。

北海道：兼古 昇 〒060 札幌市北八条西 5 丁目
北海道大学理学部物理学教室

水 沢：原 忠 徳 〒023 水沢市星が丘町 2-12
緯度観測所

仙 台：竹 内 峯 〒980 仙台市荒巻字青葉
東北大学理学部天文学教室

東 京：中 桐 正 夫 〒181 三鷹市大沢 2-21-1
東京天文台

名古屋：山下 広 順 〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理学教室

京 都：小 暮 智 一 〒606 京都市左京区北白川追分
町 京都大学理学部宇宙物理学教室

中国・四国：富田 憲 二 〒725 広島県竹原市の場
1294 広島大学理論物理研究所

九 州：上 西 啓 祐 〒860 熊本市黒髪 2-39-1
熊本大学理学部物理学教室

◇講演申込者で、年会出席旅費の補助を希望される方は、支部理事を通じて、8月15日までに「東京天文台内日本天文学会理事長」あてに申し込んで下さい。但し申込みのできる人は、52年度会費まで納入済みの人で、原則として、連名の場合でもスピーカーであり、正式の給与を受けていない人(大学院生など)に限ります。

◇旅館については次頁のリストを参照して、各自で直接申し込んで下さい。

大塚奨学金希望者募集

昭和 52 年度の大塚奨学金を希望される方は、9月30日までに、下記の事項を記載のうえ「〒181 三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内 日本天文学会理事長」あてにお申し込み下さい。

(1) 氏名、生年月日、年令、性別 (2) 現住所 (3) 学歴 (4) 職業 (5) 研究題目 (6) 留学したいと思う機関 (7) 留学を希望する期間と日程 (8) 奨学金の交付希望額(限度 10 万円) (9) これまでの主な研究歴

なお、大塚奨学金は昭和 36 年に大塚寛治氏の寄付金を基金として日本国内の特定の研究機関において天文学およびそれに関連する分野の研究を目的とする短期間の内地留学のための旅費、滞在費を支給することを目的として設けられましたが、去年から奨学金の用途の拡大が認められ、内地留学のための諸経費として使用できるようになりました。この奨学金は設立の趣旨から主としてアマチュアのために活用されおられます。詳細については会員名簿付録の内規を御参照下さい。